

平成26年度第2回奈良県公立大学法人奈良県立医科大学評価委員会議事概要

開催日時 平成26年8月12日(火) 15:00～16:45

開催場所 奈良県庁 5階第一会議室

出席者

(委員) 安田委員長、狭間委員、堀委員、矢島委員

(法人) 山下理事、川邊部長、その他関係課職員

(事務局) 中川県知事公室審議官、河合課長、木嶋課長補佐、その他病院マネジメント課職員

議 題

- (1) 平成25年度業務実績に関する評価の検討について
- (2) 平成25年度財務諸表の承認にかかる意見について

公開・非公開の別

公開(傍聴者 0人、報道関係者 0人)

議事内容

- (1) 平成25年度業務実績に関する評価の検討について
 - ・事務局より「資料1」の説明

[安田委員長]

地域貢献4ページから7ページについて、ご意見は。

[堀委員]

まず、注目される取組というのは、あらかじめ決められた項目のみがあがっているのか。

[安田委員長]

大学の評価に基づいて作ってあるもので、各委員の評価が出揃ってからは付け加えてない。基本的に、委員評価の平均が3.6か3.8が注目される取組として採択するか、採択しないのかを決める必要がある。年度連番19だけが委員評価4.0であるが、注目される取組としてあがっていないので、ご議論いただきたい。基本的には、委員評価4.0以上のものに関しては注目される取組として採り上げる方向でご議論いただければ、と考えている。

[堀委員]

4ページで注目される取組の一番上が「医師派遣センター」で、いわば目玉取組であるが、3.6である。この評価書(案)に記載されている点数は消えるのか。

[安田委員長]

点数は消える。

[堀委員]

3.6というのは注目される取組のボーダーといった認識でいいのか。

[安田委員長]

ボーダーというわけではない。必ずしも何点以上を採り上げるとは決めていないので、委員の先生方の議論の中で決めていただければと考えている。

[堀委員]

採り上げてもいいのだけれども点数が良くないから消しましょう、という議論をすればいいのか。

[安田委員長]

評価書（案）の中で採り上げているが、不採択にしようとか、（案）の中にはないが採り上げようかなどの議論をしてほしい。

[堀委員]

地域貢献〈教育関連〉で評価書（案）の中にある注目される取組や課題に関しては、これで良いと思うが、この中で委員評価が割れているのはどの項目か。

[事務局]

課題、年度連番3の「奈良学」についてである。

[堀委員]

私個人的には、課題にあげていても良いと思う。以前にかなり議論してはいたが、なかなかスムーズに進んでいない項目なので。

（他委員から反対意見なし。）

[安田委員長]

では、地域貢献〈教育関連〉は評価書（案）のままですべて採択。

[安田委員長]

続いて、地域貢献〈研究関連〉について。

同一の項目が他の分野でも採択されている、重複採択についてだが、分野によっては採択されたり、されなかったりというのもご議論いただきたい。参考資料2で*印がついているものが重複の項目である。本来的には、分野によって記述される角度が違うはずである。同じ内容で記述するのはおかしい気がする。

[堀委員]

ウエイトの重い方を採択するのがよいのではないか。この分野での同一の項目が採択されているのはどれか。

[安田委員長]

年度連番14と年度連番20である。

[矢島委員]

重複項目は文言も全て同じなのか。

[安田委員長]

文言も同じである。

[安田委員長]

年度連番15、年度連番17、年度連番18は委員評価3.8であるので、採択するかしないかのご議論をお願いしたい。また、年度連番19「公開講座」は委員評価が4.0の項目であるが、

(案)には採り上げていないので、ここも採択するかしないかの議論が必要かと思う。

[狭間委員・堀委員・矢島委員]

年度連番19に関して、採択に賛成。また、年度連番15、年度連番17は不採択、年度連番18は採択。

[安田委員長]

年度連番14は、年度計画には「基本方針を策定する」と書いてあるが、質問等をしていく中で平成25年度には「策定していない」ことが分かったので、不採択でもいいのではないかと。

(各委員不採択で承認)

[安田委員長]

続いて、地域貢献〈診療関連〉についてご議論をお願いします。

[堀委員]

年度連番24の「産科医・新生児科医」の増員はできていなかったのか。

[法人]

増員はしている。

[安田委員長]

それであれば、評価書(案)の文言を「産科医・新生児科医の確保」から「産科医・新生児科医の増員」にすべきか。

[事務局]

平成25年度中に増員されたのか。

[法人]

平成26年度4月1日付けで採用したので、平成25年度中に採用を決定したということになる。

[堀委員]

それであるならば、「産科医・新生児科医の確保」のままにしておいたほうがよいのではないかと。年度連番22は文言そのまま、注目される取組に採用の方向でどうか。

(安田委員長、各委員了承)

[安田委員長]

課題として採り上げている項目で、年度計画にはきっちり合致する項目としてあがっていないのだが、評価指標といった形で出てきているので、どこかで入れた方がよいと考えている。

[堀委員]

課題といった形で採り上げてしまうと読む方は、かなり問題だと思ってしまうが、「連携パス」も「逆紹介」ももう少し頑張っていたきたいといった気持ちもあるが、課題というほどのものでもないと思う。今後とも引き続き努力いただきたい、といった感じである。

[矢島委員]

課題の重みが少しよく分からない。達成していないことに対するある一定のコメントか何かを書いた方が良い気がするが、課題として採り上げるべきか悩む部分である。

[堀委員]

委員評価の点数もバラバラである。点数とのギャップが生じてしまった。委員の方々が低い点数をつけているならば、課題としてあげてもいいのだけれども、委員評価が 3.8 もあって課題となると、読む方がどのような意味かとなるのではないか。なので、取り立てて採り上げる必要がないのではないか。

[安田委員長]

数値目標（評価指標）に対するご議論も、また後ほどする必要はある。今回は、課題として不採択でよろしいか。

[事務局]

数値目標に関して、年度連番 2 1 の「ER」と年度連番 2 7 の「連携パス」の両方とも課題として採り上げないということよろしいか。

[堀委員]

年度連番 2 1 は委員評価もあまり高くない (3.4)。なので、私は年度連番 2 1 「ER」は採択して、年度連番 2 7 「連携パス」は不採択であると考えていた。

[矢島委員]

そうすれば、年度連番 2 1 は残していると、逆に年度連番 2 7 の「連携パス」の件数が目標に達していないことが気になるのではないか。

[事務局]

他の課題では委員評価が 2 点台で採り上げているのは当然であると思うが、年度連番 2 1、年度連番 2 7 に関しては、委員の先生方の評価点数がそれなりに (3.4、3.8) なっている。取組としては努力しているが、結果として数値に出ていない等の表記をして、課題とは別に先生方のコメントといった感じにするのも一つの方法かと考えるがどうか。

[堀委員]

年度連番 2 1 の「ER」は「医師派遣センター」と並んで、知事が重点項目に挙げておられる項目である。その項目が達成していないの見過ごすかどうかということもある。個人的には、年度連番 2 1 に関しては課題に残しておきたい。課題なので、さらに努力してほしい旨を記載すればいいのかなと思う。年度連番 2 7 の「連携パス」はそこまで重点項目とも考えていなかったもので、年度連番 2 1 と年度連番 2 7 に関しては少し重みが違うように思うので、年度連番 2 1 は採択し、年度連番 2 7 は不採択にするのが適しているように思うが。

[事務局]

そこは先生方の判断にお任せする。

[安田委員長]

年度連番 2 1 は課題に採択し、年度連番 2 7 は不採択でよろしいか。

(各委員了承)

[安田委員長]

これまでのところの年度評価は、地域貢献〈教育関連〉がⅣ、地域貢献〈研究関連〉がⅣ、地域貢献〈診療関連〉がⅣでよろしいか。

(各委員了承)

[安田委員長]

続いて、教育について議論いただきたいと思う。

年度連番39が診療とまちづくりの分野でも重複している項目である。

[堀委員]

教育は全般的に委員評価の点数が高く、取組が多く挙げられているので、年度連番37の「FD」を残すかどうかといった議論が必要かと思う。

[狭間委員]

現在、大学では「FD」がとても重要視されている取組である。しかし、委員評価点数も3.6で、教育分野で注目される取組が多く挙げられているのも考慮に入れる必要もある。

[堀委員]

委員評価点数3.6で採り上げてない項目もあるのか。

[安田委員長]

それはある。3.8で採り上げてない項目もある。

[矢島委員]

年度連番33も年度連番37も「FD」についての記述であるので、年度連番37は採り上げなくてもいいのではないか。

(安田委員長、各委員、採り上げないこと了承)

[安田委員]

続いて、研究についてご議論お願いします。

地域貢献〈研究関連〉で出てきた、年度連番14が再掲でこの分野にもでてきているが、どうするか。

[事務局]

中期計画での位置づけは違うが、平成25年度計画と実績についての文言は、地域貢献〈研究関連〉のものと全く同じである。

[堀委員]

地域貢献〈研究関連〉の時と同じ理由で、不採用がいいと思う。

(安田委員長、各委員了承)

[安田委員長]

それ以外の項目に関して、ご意見いかがか。評価書(案)の通りでよろしいか。

(各委員了承)

[安田委員長]

続いて、診療についてご意見は。

[堀委員]

診療の分野は注目される取組が多い。委員評価が3.5、3.6というのは正直省いてもいいかなと考えている。

[矢島委員]

委員評価 3.6 以下を省くと、採り上げる項目が2つだけになってしまう。

[堀委員]

年度連番 28 の「緩和ケアセンター」であるが、国が作れといているものに対応しているだけで、ほとんどの病院が設置しているものであり、特段珍しいものでもないので、採り上げる項目ではないと思う。

(安田委員長、各委員了承)

[堀委員]

年度連番 51 の「ホスピタリティ向上委員会」であるが、まだ結果が出ていないので、採り上げる必要がないのではないか。また、ホスピタリティ向上委員会を設置している病院も多いので、何かユニークな試みかといわれればそうでもない。

[安田委員長]

年度連番 51 か年度連番 53 のどちらかを採り上げることになるか。

[堀委員]

結果を出したという意味では、年度連番 53 「患者アメニティ」の方が採り上げるに相応しいのではないか。

(安田委員長、各委員了承)

[堀委員]

年度連番 43 は「ワークライフバランス」であるが、課題の年度連番 45 でも同じようにワークライフバランスについて(案)として挙がっているが、表層的にみるとややこしいのではないか。

[矢島委員]

年度連番 43 の「ワークライフバランス」に関しては、ワークライフバランス検討委員会の設置で、年度連番 45 は保育園についてである。今のタイミングで決して早いとはいえないが、ワークライフバランスに関しては、体制を作ることが非常に重要だといわれているので、平成 25 年度からスタートしたという意味では、年度連番 43 は注目される取組に採り上げてもいいのではないか。

[堀委員]

確かに、きっちり読んでいただければ分かるものである。

[事務局]

課題の中の年度連番 45 の「保育園」のことであるが、平成 26 年度予算に計上しているので、追記等をさせていただきたい。議会にも提出するものになるので、何もやってないように思われかねない。平成 26 年度中にやる予定であるので。

[法人]

平成 26 年に 1 年遅れで実施する予定である。

[矢島委員]

今のままの記述であると、全く実施する予定がなくなったかのように思われるので、何か附記する方がいいと思う。

[法人]

実際に平成25年度に定員増を図るべく進めていたが、病児保育も必要ではないかという意見が出たので、それを取り入れて行うにはどのようにすればいいのかといった中で遅れている。平成26年度に入って進めているところである。

[事務局]

この項目に関しては、県の予算等の状況を整理し、記述を改めさせていただきたい。
(安田委員長、各委員了承)

[安田委員長]

ここまでのところの年度評価は、教育がⅣ、研究がⅣ、診療がⅣでよろしいか。
(各委員了承)

[安田委員長]

続いて、まちづくりについてご意見は。
すべての項目について、これまでに出てきた項目の再掲になっているので、どちらに採り上げるのか、又は、言葉を足すのか等の議論が必要となるのではないか。

[事務局]

項目の立て方次第で、様々な分野に出てくる場合もあるので、その場合は「再掲」を文末に注記するといった形で残しておくのも一つの方法か、と考える。

[堀委員]

まちづくりは一つの大きな分野であるので、無くしてしまうのはよくないと考える。「再掲」の形で残してもいいと思う。

[安田委員長]

「再掲」で残すということによろしいか。
(各委員了承)

[安田委員長]

続いて、法人運営に関してご意見は。

[堀委員]

診療の分野で「ワークライフバランス」のことを採択したので、年度連番43・44は特筆すべき項目でもないのでは、採り上げなくてもいいのではないか。

[安田委員長]

年度連番62の「アンケート調査」ですが、委員評価も3.4でアンケート調査、分析と特筆すべき点ではないので、採り上げなくてもよいのではないか。

[堀委員]

年度連番63の「同窓会との連携」ですが、この項目も委員評価3.6で、あまり特筆すべき点ではないので、採り上げなくてもよいのではないか。

(安田委員長、各委員了承)

[堀委員]

課題の年度連番45「保育園」に関して文言を残すのか。ここは、法人運営のガバナンスについてであると思うが。

[事務局]

ここは年次有給休暇の取得日数のことであるので、文言変更等の対応をしたい。

[安田委員長]

ここまでの年度評価だが、まちづくりがⅣ、法人運営がⅢでよろしいか。

(各委員了承)

[安田委員長]

年度評価の平成25年度評価についてご意見は。

[堀委員]

全体評価の中で、「医大の将来像について」の文章を各論の中に入っているのに少し違和感がある。

[事務局]

年度連番39の内容と現在行っていることで、少しズレが生じてきている。中期計画・年度計画を作る段階では、ハード整備について考えることが記載されていたが、実際1年経って、知事とのやりとりの中で、医大の将来像策定会議をすることになった。何をするのか、内容や理念的なことを考えているところである。現段階では、年度計画等に記載しているハード整備について議論していない段階である。

[堀委員]

書き方の問題である。非常に重要な取組をしているので、是非とも記述してほしい。最初か、最後に記述する等工夫してほしい。

[安田委員長]

先ほどの項目別評価も含めて、事務局との調整は私にお任せいただき、最終案を作成後、今月中に各委員へ事務局からメール等でお送りして、確認いただくということでもよろしいか。また、その後、参考資料3-1のとおり「評価結果」を法人へ通知するとともに、参考資料3-2のとおり知事に報告してよろしいか。

(各委員了承)

(2) 平成25年度財務諸表の承認にかかる意見について

・事務局より「資料2」の説明

[堀委員]

財務諸表については資料2の財務諸表の確認項目だけなのか。財務諸表が参考資料となっているのはおかしくないか。本来、資料2として財務諸表があって委員が目を通すものではないのか。

[事務局]

前回の第1回評価委員会で、財務諸表は正式な議事資料として出させていただいていたので、今回は参考資料とさせていただいた。

[安田委員長]

異議がなければ、財務諸表の承認について「意見なし」として、参考資料7のとおり医大に提出することとしたい。

(各委員了承)

(3) 全体を通して

[堀委員]

委員によって、達成している項目をⅢにするのかⅣにするのか違う。年度によって委員が替わると、実態に変化がないにもかかわらず、採点が上下しかねないので、平均値の推移のようなものをチェックできるようにしておかなくてもいいのか。委員も事務局も替わると、その年度、その次の年度の評価がそれで良いのかというのを判断できる。

[矢島委員]

数値目標については、数値目標に達成していない項目に関して、年度評価の中で「達成していなかったので、達成を期待する」等の文言を入れてはどうか。また、評価指標が、委員が評価をつけた年度項目に紐がっていないので、次年度からはなるべく紐づけしていただきたい。

[安田委員長]

今回の中期目標には数値を入れ、法人の方でも数値を出しているので、中期計画・年度計画に必ず関連ある項目がないとおかしい。次年度以降は、指標も測れるようにしておいてほしい。違う分野では再掲が多いので、違った視点からの記述をしてほしい。

また、業務実績報告書と資料だけを見れば、委員が理解できるような記述にしてほしい。例えば、「研究戦略本部を置いて、基本方針を策定した」というのであれば、研究戦略本部の設置を決定した議事録もあるはずだし、基本方針を定めた議事録もあるだろうし、最後に基本方針といった3点が資料として出てくれば、委員も評価しやすい。どうしても文面だけで評価してしまうので、委員の先生方によって評価の振れる幅が大きい。なるべく振れ幅が小さくなるように、記述の仕方に気をつけてほしい。

[狭間委員]

評価するのは大変難しく時間がかかった。個人的には、法人が提出した業務実績報告書に問題がないのではないかと、ということに従って評価した。委員の先生方によって評価のばらつきがあるということであれば、文章表現等々を工夫していただきたい。

[矢島委員]

評価指標と年度計画が必ずしも紐がっていないので、解釈としては、各項目の評価は各項目の評価でして、分野別の評価のところでは数値目標も含まれているということになるのかなと思う。

[事務局]

数値目標が未達成な項目に関しては羅列することもいいと思うので、目標に対して1割も未達成であると記述する等、何かルールを決めてやっていくのも良いかと思う。また、第2期中期目標期間の初年度でもあり、評価方法も大きく変えているので、平成25年度がスタート台ということでお願いしたい。

